

# 絵図から読み解く岩出山の城と町

今から430年前、豊臣秀吉の奥羽再仕置に伴い、徳川家康から岩手沢城を引き渡された伊達政宗は、ここを「岩出山城」と改め、米沢に代わる本拠とするため、本格的な城と町の整備に着手します。政宗が仙台へ移ると岩出山城は四男・宗泰に与えられ、後に幕府の一国一城令のもとで「岩出山要害」として宗泰子孫の岩出山伊達家が代々拝領しました。

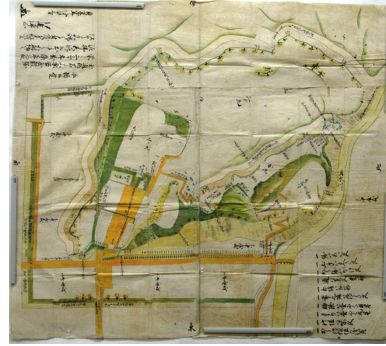
城の性格の変化に伴い、庶民の暮らす町も、中世の小規模な村や町場から、政宗御ひざ元の城下町、そして岩出山伊達家の館下町へと姿を変えていきます。

本企画展では、岩出山の城と町が描かれた絵図を細部まで読んでいきます。何が描かれているのか、時代によってどう変化したのか。絵図の魅力とそれを読み解くことで見えてくる歴史の風景を探ります。



「岩出山要害絵図」(部分)

明治15年(1881)。風景的に描かれた絵図で、要害屋敷の姿を具体的に伝えるものです。



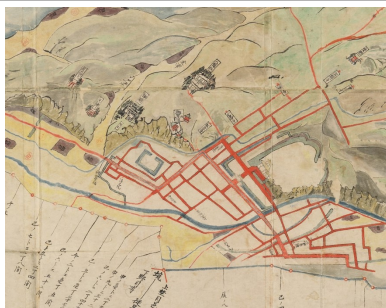
「要害屋敷修復伺絵図」

(写図)

貞享4年(1687)。「要害屋敷」は城に準じた扱いを受け、修復するためには幕府へ絵図を添えて申請し、許可を得ることが必要でした。

「玉造郡岩出山要害屋敷惣絵図」  
(宮城県図書館所蔵)

貞享5年(1688)。仙台藩の要害制度が確立したときに提出された絵図で、岩出山要害の全体が描かれています。



「玉造郡岩出山本郷御城廻絵図」

(部分)

文政6年(1823)。「文政の村絵図」と呼ばれるものです。御城まわりの岩出山本郷の全体像が立体的に描かれています。

## 関連企画

### 「探検 岩出山 城歩き・町歩き」

#### (1) 岩出山城探検

令和3年10月2日(土) 9:00~12:00

※申込期限: 9月22日(水) 定員: 30名

#### (2) 岩出山伊達家ゆかりの寺社巡り

令和3年10月27日(水) 9:00~12:00

※申込期限: 10月18日(月) 定員: 20名

期限までに電話・FAX・E-Mailにて、住所・氏名・連絡先・参加希望人数を添え、大崎市教育委員会文化財課までお申込みください。

申し込みが多数の場合には抽選とさせていただきます。

大崎市誕生15周年・上廣歴史資料学研究部門設立10周年記念講演会

### 「江戸時代の始まりと幕末・維新の岩出山」(仮)

日時: 令和3年11月27日(土) 12:00~

会場: 大崎市岩出山文化会館(スコレハウス)

講演: 遠藤ゆり子氏(淑徳大学教授)

「戦国時代から江戸時代初期の伊達家(仮)」

荒武賢一朗氏(東北大学教授)

「幕末期の岩出山伊達家(仮)」

パネルディスカッション「伊達家と岩出山(仮)」

荒武賢一朗氏、遠藤ゆり子氏

野本禎司氏(東北大学助教)

菊地優子氏(大崎市教育委員会)